医師会全面委託方式による乳幼児健診の現況分析 一第1報:北九州市方式の特徴と今後の課題一

梶 原 康 巨¹⁾, 沖 勉²⁾ 清 水 美智夫²⁾

要約:

北九州市における乳幼児健診に、市と市医師会との委託契約による北九州方式 (いわゆる"窓口健診方式")が導入され20年余が経過した。発足当初の昭和 40年代に比べ母子の栄養状態一つとっても、向上が認められ、この間の母性及 び乳幼児に対する健康の保持・増進への諸先輩の努力には、敬服に値するものが ある。

北九州市方式は、一面において、現在の母子保健の状況を先見し、全国に先がけた個別健診、個別指導の体制であり、自負できる内容を持っているが、現時点での本方式の利点、欠点を検証し、将来に向けてより地域の実状に即応した展開を検討する時期にきている。例えば、国際化への対応や小児期成人病の予防対策も急務である。今回第一報として、北九州市式方式の歴史および現体制をまとめ、想定される利点・欠点を示し、今後の現状分析の方針を報告した。

見出し語: 乳幼児健康診査、 医師会委託方式、北九州市方式

I) 北九州市方式の成立と現在の体制 すでに諸家の指摘するように¹⁾²⁾、 わが国の少産化、少子化現象、健康に 対するニーズの多様化・高次化、女性

の社会進出にともなう育児時間の制約 化、核家族化など母子保健をとりまく 環境は日々変化しており、北九州市も

¹⁾産業医科大学小児科学教室 2)北九州市保健局

例外ではない。しかも情報化社会の到来、ライフスタイルの多様化にともない、画一的、集団的な健診や育児知識の"指導"では不十分で、個々の事例に対応して"相談"にのり、ともに考えて行かなければならない時代となっている。特に子どもの基本的人権に関わる事例の増加も見逃せない³¹。

北九州市方式、いわゆる、"窓口健診"とは以下に詳述するように、受診者が自由に最寄りの健診医を選び、個別に一次健診を受けることのできるシステムである4)。昭和38年2月、五市合併による北九州市誕生当時の乳幼児健診は旧市時代の一斉集団健診(校区単位)を引き継ぐ形で実施されていた。

昭和42年、北九州市小児科医会で従来方式の批判・改善の検討が開始され、翌昭和43年6月に北九州衛生局(現、保健局)および市医師会による母子保健対策委員会が発足し、昭和44年4月、乳幼児健診(4か月児、7か月児)を市と市医師会との委託契約による経緯になった。この間の経緯について山岡は50、従来行われていた集団健診と集団指導が、労多くしず、実り少ない行政的年中行事に過ぎずな子といる。というのというでは、単にレッテルを貼っては、単にレッテルを貼りにある。

るだけで、指導も抽象的、理論的で具 体性に欠け、親の苦労はむしろ増強さ れるといったことが多く、人前に出し たくないという親の心理を逆なでする 結果となり、受診意欲を失わせていた こと、また家庭医としての第一次医療 機関、健診の実施・管理の責任者とし ての保健所、精検を引き受ける第二次 医療機関、特に心身障害児などの管理 ・措置を担当する児童相談所などの行 政機関といった各当事者間の有機的連 携がなかったことなどの反省として、 開業医を中心とする第一線小児科医を 第一次の窓口とする現在の北九州市方 式を採用するに至ったとしている。そ の後、昭和45年4月より3歳児健診 ・3歳児歯科健診を、昭和53年4月 より1歳6か月児健診を同様の窓口健 診方式とし、市医師会への全面委託に よる北九州市方式が出来上がった。

表1には各政令都市の乳幼児健診システムの現状を引用したが⁶⁾、全面委託を採っているのは北九州市のみである。昭和54年4月には第82回日本小児科学会総会・シンポジウムで「北九州市方式」として紹介され、以後、いくつかの改訂が行われ現在に至った。その間北九州市方式の是非について諸家が⁷⁾⁸⁾⁹⁾¹⁸⁾が、それぞれの立場で言及し論争しているが、必ずしもかみ合

わず、今日を迎えている。平成元年9月、北九州市方式が20年を経過するに当たり、北九州市乳幼児健診の手引が北九州市医師会、北九州市衛生局(現、保健局)北九州市小児科医会の手で発刊された。

図1は同手引より引用したが、現在 の北九州市の乳幼児健康診査の体系が 示されている¹¹⁾。

以下北九州市方式の特徴を3つに分けて示す。

1. 母子登録管理制度

妊婦が保健所に妊娠届出をすると、 母子健康手帳が交付されるとともに登 録管理票が作成され、新生児・4か月 児・7か月児・1歳6か月児および3 歳児の健康管理状況及び健診後の結果 等が記録されることとなる。母子健康 手帳には、綴じ込みの健康診査受診票 が各健診ごとに3枚複写となっており、 本人、医療機関、保健所の各々に控え があり、それぞれに情報が提供される。 (表2)

2. 窓口健診方式

保護者は、信頼する最寄りの医療機関に健康診査受診票を提示することにより、都合のよい日に、しかも乳児期から幼児期に至るまで同じ専門医による健診を受け、相談・指導等、発育段階に沿った継続的な観察が可能であり、

医師とのコミュニケーションを取りやすい。健診医は北九州市医師会会員で、健康診査登録医の手続きをしたもので、登録医は市医師会乳幼児保健委員会が主催する年2回の乳幼児健康診査の研修会に定期的に参加し、知識、技術水準の維持向上の努力が重ねられている。

3. 保健指導および事後措置

健康診査受診後、診査結果は市医師会・市保健局を通じて各保健所に還流され、保健所ではその後の記録・管理・指導・事後措置等、健診医師の指示・判定事項に応じて必要な個別及び制力を表すると、精密機関・市立総合療育センター・市立養護教育センターおよび市立児童相談所等)に紹介・受診勧奨を行うなど有機的連携が図られる。

北九州市の人口動態と乳幼児健診受 診率

表3は北九州市の人口動態を示している。出生数は昭和42年の20,507人をピークに減少し、昭和63年には10,453人と半減している。この間に小児科専門医は2倍となったといわれ、児1人当りの小児科専門医数は約4倍になったことになる。

表4には、健診受診率および保健指

導来所率の推移を示しているが、現体 制の完成した昭和53年以降各健診の 受診率は年々向上している。諸先輩の 努力とともに、本方式が従来の方式よ り住民に受け入れられた表れであると 言って良いだろう。表1の各政令都市 の乳幼児健診システムの現状(昭和6 1年)をみると、4カ月児、7カ月児 の乳児健診率は、他都市に比べて良い といえるが、1歳6カ月児、3歳児の それは低い傾向にある。要因の一つと して、PR方法が"市政だより"とい う広報のみで個人通知をまったくして いないことが考えられるが、一方、同 じ福岡県内である福岡市が直営方式で、 かつ個人通知をしていながらも同様に 低率であることを見ると、地域的要因 が強いのかも知れない。平成2年度よ り北九州市では、1歳6カ月、3歳時 に個人通知を行うことになっており成 果が待たれる。

北九州市方式で想定される利点と欠 点

現行の北九州市方式で想定される利点と欠点を受診者、健診医、市(行政)の立場で示してみた。(表5)受診者の立場でみると、信頼する近医で都合の良い日に受診できること、健診医が単にその場限りの健診医に終わ

ることなく、"Home docto r"として以後の経過を診てもらえる こと、また、異常があれば即座に治療 へ直結でき、不要な2次健診を受けず にすむことなど、利点が多く想定され る。ただしこれには各健診医の知識・ 技術レベルの維持向上と、時間的にも 質的にも十分な個別指導が前提となる。 市側からみれば、費用および対象児の 管理の面で、いくつかの欠点が想定さ れる。表6には、最近5年間の北九州 市の母子関係予算の概略を示した。ち なみに平成元年度の乳幼児健診委託料 をみると、1億5千万円余りとなる。 比較のため、直営方式の乳幼児健診が 主体で、人口規模の類似した広島市の 同年度の予算を問い合わせてみると、 2.700万円とのことであり、相当 な開きがある。しかし、当然ながら、 直営方式での医師、保健婦等の健診に 関わるコストは除外されており、時間 的コストなどを考えると、単純な比較 は不可能であり、詳細な検討が必要で あろう。

また、児の管理の面でも、行政側が すべての児を詳細に把握し管理すると いう時代ではなく、必要な児に必要な 行政的な手助けが重点的に提供できる ようにすることが肝要であろう。各健 診医と保健所(特に保健婦)との連携 が重要な前提となる。

表5に想定した利点と欠点の検証には、北九州市方式と直営方式の乳幼児健診システムを量的側面、質的側面に分けて総合的に評価する必要がある。

Ⅱ)今後の現状分析の方針

北九州市方式と直営方式の効果効率 を比較し、現状分析を以下のように行 う。

1. 研究課題の概要

量的側面、質的側面に分け評価を 試みる。

- ①量的側面からの評価
- 受診率、要処置率(要観察、要訪問、要医療、要精査率)、事後処置実施率、真の異常率
- 2)育成医療受給者の健診システムの利用率
- 3)乳幼児健診関連費用、従事人員、 従事時間
- ②質的側面からの評価
- 1)健診医の専門性からみた質的評価
- 2)児の1人当りの健診(健康指導) 時間の推定
- 3)育成医療受給者のうち、健診受診者の動向からみた健診の鋭敏度(サンプリング)
- 4)母親、医師および保健婦からみた

健診の評価

受診率については今回、若干の言及 をしたが、要処置率、事後処置実施率に 真の異常率に関しては、受診結果票に 基づいてはの置者に対する。 健婦による間き療受給者(年間発見され 方、のうち、本者健診では、健診で 有無、健診の時期などを調査したの時期などを調査したの時期などを調査したがの時期などで調査したがの治されたがの流れを明ら診 を受診したがある。 を受診して対象に対する健診の を受診して対象に対する健診の を実験を考察する。

文献

- 高原亮治:母子保健のルネサンス、
 厚生福祉 平成2年1月17日 2-6
- 2)生田恵子他:母子保健活動の新しい 展開を求めて、保健同人生活教育 34 (3):2-44.1990
- 3)山岸稔:子供の人権、小児医学概論、 13-23 日本小児医事出版、1989
- 4)伊藤助雄:母子保健活動、公衆衛生、
- 50(3):163-170, 1986
- 5)山岡浩一:乳幼児健診、北九州市方式について、保健同人生活教育 25(7):48-51、1981
- 6)吉田哲彦他:乳幼児健診の質的向上 に関する研究、昭和61年度~63年

度のまとめ、55-56 (厚生省心身障害 研究報告)

- 7)小栗史朗:保健所運営費・補助金はなぜ必要か、保健同人生活教育 24(1
- 1):62-68, 1980
- 8)園田真人:北九州市の母子管理について、保健同人生活教育 25(2):32-35、1981
- 9)小栗史朗:乳健委託をめぐって(3) 乳幼児健診の北九州市方式について、 保健同人生活教育 25(4):56-59,1981 10)加藤春樹:乳健委託をめぐって(4) 保健同人生活教育 25(6):72-75、1981 11)北九州市乳幼児健診の手引、1989

資料を提供して戴いた北九州市医師 会及び北九州市保健局に深謝致します。

図 1 乳幼児健康診査の体系

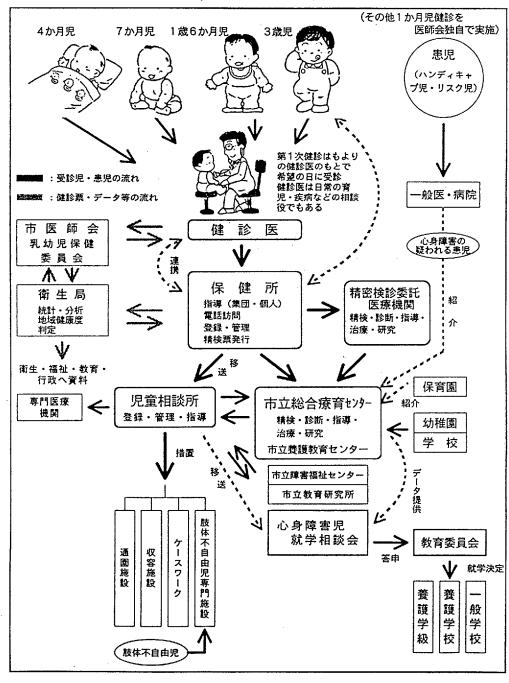


表1. 乳幼児健診システムの現状

(政令都市分)

	á	<u> </u>	Γ	T	1		1	1	I 			
ļ		5 5 5										
Hi.	£	2 5 5	0~4H 3~6H含*1回 7~12H				健療診斷は医療機関 保健指導は保健所	-				
既· 方	4	P .	終受診款 75,126	63.4	85.1 68.5 56.3	66.4	91.6 88.8 76.0 60.7	۴.	58.2			65.4
10X					爾人通知 ""	-	(広 188) (チラシ)	母子手袋	4.X(((の子手様とじこみ)			母子手线
	1 2	1	乳児期 3回	乳児期 1回	1 0 M 4 7 5 7	乳児期 2回	4M 7M 1.64	乳児期 1回	1 0 31			乳児期 2回
		BCG			0				0			
		100										
	の 初	略										
	*	田枝	000	000	000	000			000	000	0000	000
	农	個人指導	000	0000	000	000		0 000	000	000	0000	0000
	绘塑	ंक्	00	000	00	00		0	00	00	00	00
		関チト塔ス	0		00			0			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	00
		発子々迷よク	000	000	000			0 000	000	000	0000	00
		数量						2	(((((<u>)</u>)		1 - 4 种 1 - 1	
ĸ		心理			1			6		A. A. A.	被数 ——	
		铁技	2								** 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
五	25	节節	333			200			222	2 2 2		
	Œ	₩ ×	-66			22		44	1 2			
	15	S	000			000		4	222	999	22	
‡m		朱襄	200			1 2 2				m m m		
	兹	PHN	∞ ∞ ∞	300	www	4 \ 7 \ 7 \ 5 \ 5 \ 5 \ 5 \ 5 \ 5 \ 5 \ 5		4 4 5 2 5	242		ဆေလကဆေ	2000
100		88 ¹ 2	2	2 2 2								==
,-		ρ'n	2 2 2	1 2 2 2 2	222			33-11	222	2		
	2 5	(\$\frac{4}{2}\)	54.9 59.8 62.4	53 58 58 58	452 420 468	42.6		45.2 49.1 47.8 74.1 126.4	61.9 63.1 77.6	83.4 60.2	30.6 30.0 38.9 41.9	37.3 36.8 37.9 34.2
		窜、%	81.5 59.8 62.4	90.1 77.5 次数数 5.585	95.8 81.6 86.0	95.8 87.8 78.2	· ·	35.4 38.1 36.9 82.6 84.4	94.9 66.8 67.9	86.8 8.8 8.8	92.2 87.8 88.4 83.3	89.2 83.2 81.6 70.9
	が作品の		広報	開人通知""	個人通知 広報 個人通知	個人通知 広報		区广档 " 個人途知	個人通知	48人副知	48人通知 第	個人過知
	1		4M 1.67 37	3.1 1.67 3.7 机规阀 (策速相談)	3M 1.67 3.7	3M 1.67		3M 6M 9M 1.67	4M 1.67 3.4	1M 1.67 3.7	4.N 8.N 1.6.7 3.7	4N 9N 1.67 37
	# 2	所数	17	8	6	16	7	6 .	1	7	41	•
	#	3		29.455	13,691	26,000	11,901	15,547	15,504	19.082	15,602	13,495
	□ ≺		3,110,273	2,643,213	1,125,557	2,134,421	1.045,560	月 市 1,422,922 15,547	市 1,182,260 15,504	ती 1,596,359	市 1,480,352 15,602	1,041,237 13,495
	製)	横 浜 市 3,110,273 34,366	版	11 年	名古羅市 2	化九州茚 1.045.360	世 以 史	型 日 日	៤ឧកា	路市	正 33 市 1

4か月児健康診査受診票

母子健康手帳

影道結果

お母さん方へ

4か月児 健診アンケート

1	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		男、女	次のことについてお尋ねします。「はい」「いいえ」又は「ない」 「ある」のいろれかに〇をつけてください。	200	配和	年月	н .	63·八東 Nº 00702	2 007	02
1. 89/17/08と表 がは至ってたますか。	- -		年 月 日生[F	A K C II	休魚				
T 2 4 4 4 7 7 7 7 7 7 7	1				_		体格 (大・	捌			(#¢·	
### ### ### ## ## ## ## ## ### ### ###							1. 外体的经有3			. 71374		Ŧ
### ### ### ### ### ### #### #########					よい。 あお向きから構向きに半分類が入りますか。		2、数字路路停息		6	S	()	Ŧ
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	쁜						7. 大口(4.)		<u>.</u>	建四米尔约·宁路中	()	Ŧ
第と現在の状況 1			re in		手やなもちゃを1112もっていき、なめたりしますか。	_	 現線が3 	440 (?+		**************************************	: ς	: 7
1. 自つを中国の種をがおいした思ったことがありますが、ない、ある 2 日本の経・経療を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を			出生陸と現在の状況		助くものを目で追いますか。				=	吸器系统电	(2)	7
10	-	Action to the Action of		2 1		¢€	4、通勤発遣契款		13.	化群系依息		
5-4 (20 kg)	:	f. wafro.hmala		,46,120	ガラガラをふったり、ながかたりして遊びますか。		7. 類學不能	+ : :		・そけいへル	_	Ŧ
4-の他(2.	出来時の異なる	し、ありょお鹿が及くかかった	٠		_	_		2	これのよう	()	Ŧ
1. あやすと声を出して美いますか。 はい・いいえ 4. 料度 (?+) 4. その他			+000 (「アーアー」「ウーウー」などいいますか。				2	天工光光彩		- 17
4の他(w.	優和的地震など	なし、あり「吸引分娩・鉗子分	機・希王切開			4. 和限	-		い。他のもって、		7
11 (か)		1	40億(-	からだがやわらかく、しっかりしないとか、手足がつ		7、聽玩說公		14	天住代斯克尔		-
13. およろに入れたとき、お乳を乾むときに、ないこよる (3. 本・その他 (?+) (5. が面が Para (たらかなかった) (4. ならが発色になることがありますか。 (4. よったが変色になった。 (2. +) (4. が面が Para (たらかなかっかいとものはんでともがりますか。 (4. よったが変色になった。 (2. +) (4. かんをかった。 (4. かんをかった。 (4. かんをかった。 (4. かんをかった。 (4. かんをかった。 (4. かんをかん (4. かんを) (4.	÷ —	発生が				:	1. 就點級第		15.	天性形態異常	•	 : 7
T ではかなかった			週 [[・ か月]		おふろに入れたとき、お乳を飲むとき、泣いたときに	×	4. その他			96 - 化流	45 · 6K0	·
からなが変色になった 1- お引の込みが少ないとも代したことがありますか。 ない・ある 7- は面 (?+) 1- 株型の人と・発行型に入れた 15- お引をしてことがありますか。 ない・ある 7- 以前の (?+) 15- か引をしてことがありますか。 ない・ある 7- 以前の (?+) 17- サレルム(いをつけをもこしたことがありますか。 ない・ある 8- 株別的 17- サレルム(いをつけをもこしたことがありますか。 ない・ある 8- 株別的 18- かぜにかかったら、すぐせつせついますか。 ない・ある 8- 株別的 19- 現在の家食法・特別・基本・人 (<u>د.</u>		しょありょすぐえかなかった			_	5		16.	の信の策技	į	-
RemALLA Refigic And 15. 874としばしば人状にむくことがありますか。 ない、ある 7. 15%代金 (2+) 16. 824の光光としてとがありますか。 ない、ある 17. 15%代金 18. 84にかかったら、すぐせつせついますか。 ない、ある 19. 現在の家養は、特別・最か・人工 19. 現在の家養は、特別・私か・人工 19. 現在の家養は、特別・社の会社 19. 現在の家養は、特別・人工 19. 現在の家養は、日本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の			からだが然色になっ	42	な礼の飲みが少ないと心化したことがありますか。	_	7. 7.	+ ()			:	:
16. 15なかが寒に大きいと思じたことがありますか。 ない・ある 7. 15分形型 (? +)		4	一点を見入した・宗	温に入れた		_	1、その他	+ ;)	-			
And OR A for A	<u>.</u>	# ちゃんの人が日		3				+ :)	-			
5. かぜにかかんち、すぐせつせついいますか。 ない・ある 7. 同様類似 (2+) が名:	:	* Wallynking 1	こうの 女性のなからだっぱ	7004.000	٠		_					
# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			1 50 th (-			7. 阿维莉欧	+ ()				
19. RRの栄養法:時代・以上 19. RRの栄養法:時代・現合・人工 (₩.		後・きょうだい		347%	¥	**					
1	<u>.</u>	クまでにかかった 。	世を紹为 なし・あり (_	19. 現在の栄養法:特礼・混合・人工 ()							
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>લ</u>	今までに気付いた。	からだの異常 なし・あり (^	その他:果汁・スープ・おもゆ・おかゆ・つぶし野菜		_	د			海里少方	變
4C・59 (114) 4C・59 (2kt・程・現t) 4C・59 (2kt・程・現t) 4C・59 (2kt・程・現t) 4C・59 (2kt・程・現t) (2kt・程・元 (2kt・元 (2kt	≓	クまでに会けた.丘	动表性		和政・とうふ・()	証	4.	后数粒液			治療管理	-
2 C・Aワ (28性・ほ・現代) (保護所へ 1・問題なしつけ・48性 な 2・Aワ 2・要指の (栄養・養護・しつけ・48性 な 2・Aワ 2・要指の (栄養・養護・しつけ・48性 1・1 は 3・単元 2・A 2・1 に 3・単元 3・東 3・A 2・A 2・A 2・A 2・A 2・A 2・A 2・A 2・A 2・A 2		ポリキ先ワアチ	なし・あり (11回)		- 20. 心配なこと、相談したいことがあれば かいてください。		7. 整備	×		Ã3 (_
2 C・ Aワ 3 の 2、整備の (栄養・養殖・しつけ・精材 ない) 2 C・ Aワ 連結指示 3、整備の (栄養・養殖・しつけ・精材 (生養) 1: 時元・某た・人口() () 1: 南辺今と 2、 経 3、 間辺あり () () 1: 南流・東点の (栄養・養殖・しつけ・精材 () () 1: 日辺今と 2、 経 3、 間辺あり () () 1: 南流・東点の () () 1: 東流の () () 2: 東流の () () 2: 東流の () () 3: 東流の () () 4: 東流の () () 5: 東流の () () 6: 東流の () () 7: 東京の () ()		ンベホクリンだ		54E)		6%6	Ŀ	1.2				Γ
4 C - A7 1 - A - A - A - A - A - A - A - A - A -		BCC	こなし、あり				:	が、 なが、 ロ	· ·	A . 4534 . 4	Con Cate	
		日常組合	***	22		-	; ~	1. K.		2 - 1114 - 12 2 - 1114 - 12	164.1 143	
	₽i	生後1~2かけの	最後注:母孔・果合・人員(_		<u>.</u>	;	٦,		* 0.K til tm		T
※大プク内はほ麦もが記入して下さい。 ※繊維がするだら保護所の4か月児相談においでください。	**	いっちにはあるかに	ALTF811,		1. 問題なじ 2. 経 3.	· · · ·	<u> </u>		後に (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		~	
※健診がすんだら保険所の4か月児相談においでください。	(), # *	この作品は記んけり	· 2000		※大ワク内は保護力が記入して下さい。				1			7
		3.5.18.18.46.5.	.twc		※健診がすんだら保健所の4か月児相談においでください。					1 米	用(保健利	<u></u>

(単位:人)	3	:	3.013	2,380	4.909	6.303	10,673	8,421	10,992	089 9	7,269	7.869	7,853	2,851	1.277	4.651	7,825	5,446	6,503	6.127	6,893	8,239	7,733	7,774	8.776	11,008	8,700
ME	妝			◁	<		Ø	◁	4	Ø	V	Ò	Ø	4	<	<	d	◁	4	<	d	◁	Ø	◁	<	1	Ø
4	北 出 取	:	54,137	57,386	56.719	57,292	63,974	62,385	64,359	62,006	60,305	60,360	57,728	57,127	49, 165	50.138	50,853	4,882	48,517	48.002	47,358	47,114	45,712	44,668	44.631	46,505	43,065
74	五人数人	:	57,150	22,006	51.810	50,989	53,301	53,964	53,367	55,326	53,036	53,091	49,875	49,276	47.888	45,487	43.028	43,375	42,014	41,875	40,465	38,875	37,979	36,894	35.857	35,497	34,365
32	为 5	11,661	12, 135	13,587	9.034	14,311	13,837	13,972	13,177	13,609	13,742	13,651	12,772	11,518	10.848	9,927	9,415	9,050	7,579	7,386	7,150	689'9	6,215	5,416	5,183	3,843	3,217
	北下野	6,177	6,262	6,226	5,988	6,196	6,253	6,112	6,320	6,178	6,253	6, 194	6,271	6,290	6,460	6,139	6,316	6,282	6,575	6,388	6,377	6,589	6,687	868'9	6,718	6,843	7,237
	出年数一	17.838	18,397	19,813	15.022	20,507	20,090	20,084	19, 497	19,787	19,995	19,845	19,013	17,808	17,308	16,066	15,731	15,332	14,154	13,774	13,527	13,278	12,902	12,314	106,11	10,686	10,454
地人口「		1,032,648	1.036,034	1,042,388	1,040,419	1,042,313	1,040,673	1,039,864	1,042,321	1,045,715	1,048,906	1,051,076	1,052,133	1,058,058	1,063,981	1,067,915	1,067,612	1,068,415	1,065,078	1,065,032	1,064,970	1,063,600	1,061,092	1,056,402	1,053,010	1,045,560	1,038,283
年	(1213)	38					43						64			52					52					200	

| 質句:原生者「人口功慰別変」,総侪庁(住民基本台低人口移動報告」 | 企画局統計課「北九州市統計年語」,「統計北九州」 | 注:自然動態、社会動態は日本人のみの数値である。 | 総人口は国勢別変時は国勢別変辞界により、他は各年10月1日現在の批計人口である。

表 4. 北九州市における 健康診査受診率及び保健指導来所率推移表

単位 %

	44	4ヶ月児	と 康7ヶ月児		£ .	C	建	指量	茸
	14	4ヶ月児	7ヶ月児	1才6月児					
					3 才児	4ヶ月児	7ヶ月児	1才6月児	3 才児
								!	
11 A	15	79.1	67.3	-		34.6	26.8	_	_
″ 3	10	74.5	67.9	_	39.1	30.5	22.7	_	19.2
<i>11</i> 4	16	82.1	73.3	_	46.8	31,7	25.4	_	28.6
<i>11</i> 4	17	84.4	74.9	_	50.4	30.9	22.8	-	29.4
11 4	18	81.0	73.0	-	56.0	30.2	22.8		41.6
<i>n</i> 4	19	82.0	76.0	_	57.0	30.7	22.3	_	41.2
<i>"</i> 5	50	85.2	81.0	-	56.3	27.9	21.9	_	40.3
<i>n</i> 5	51	80.3	74.7	-	48.1	24.8	18.6		38.9
<i>"</i> 5	52	80.1	77.5	_	52, 2	24.5	19.3	_	39.0
<i>n</i> 5	53	81.6	78.9	58.3	58.7	25.1	20.2	25.6	34.2
<i>"</i> 5	54	81.5	76.3	57.9	54.6	26.4	20.4	24.2	32.1
<i>n</i> 5	55	88.1	87.1	64.0	55.8	25.5	· 21.8	20.6	28.9
<i>n</i> 5	56	88.7	85.0	68.3	55.4	27.9	23.8	22.4	27.4
<i>11</i> 5	57	88.4	85.5	68.0	55.7	27.6	23.7	20.7	27.3
<i>"</i> 5	58	88.8	87.3	73.9	55.7	26.4	20.7	18.8	26.7
n E	59	88.1	86.1	74.0	57.1	29.1	23.1	18.9	24.4
<i>"</i> (60	89.2	87.2	75.7	59.0	26.4	21.9	20.0	22.2
<i>II</i> 6	61	91.6	88.8	76.0	60.7	27.4	22,9	18.9	21.8
<i>"</i> {	62	94.1	93.6	78.0	61.4	27.1	23.2	22.4	27.0
<i>"</i> (63	93.9	89.3	81.9	60.8	24.7		:	±9 =1
Ψ	1-			i			20,1	18.4	20,3
				i					
				1				i	

俎し 保健指導 (保健所)年所年は 健康診査受診者に対する字 北九川市方式了、有次二九了利点、农民

表5.

	現在のシステム	复言者(则(家庭)	灰色中1里川	1 12U
	1			
	母子子優交付時に後診察を	(反)。(1国人)前たかか、「なくたれる		(知)の1回人近次の事務。費用
- 1	一括交付し,健診時点で何因	- の取る人者がシステムに		を楽しない
摩 珍煎	人通知作作い。	175/16		(分)の対象学数を記答に
	1/建診登金部医の名簿と型子手展			}
	(9万/冊とい2同時に百万布)			
		(年)。近く2、受診しやすい	到の体育のなかの出発でする	(到の)建治の会場を変
	市灰谷中会会厦内中2."到知风。	o Home doctor 1= 養新送	外きなもいられない	4年事人民の3年1年7号
	康珍登金表医 n·1個別內區	o 健診を致操にHome	o Home ductor 1:7213	0 同時1=九期用8天星
	奉務學了一面多計而方	doctor 1<407523	0) त्र तक्रद्राष्ट्रिक प्रसम्	到(安全教务) 外蒙教务》
	(完口)(定)	の異格ないみれて、同一の医師	の人達診時間をナダに	1条使抗算に再念で38
- 1		(こ年過とみともえよる	243.	の人也の事務へ、マンハッターを
一次续診	/ 但し、各管金融医により入	01見人当下100後診時間が	の専門をかいさすたできる	2175013
-	5度分の1程月、1時間14	+2 th3.	の払ずしもニスク保診を	
	(自由に該及です3)	の不自言火しやずい、執紹保持、	经可、商次经济、紹介	(の)のを言を形かかる
-		0一次体验了二次候孩和		。 異常児かいが行い
	各族指 第17 窓区庭診ら	224523	(元) 0 1年4年4年 安養工作60	ならますかいしこくい
	受けたこのち、各区保険所で	。面,切下举着有低至個別1二	スタックの目がかがうけってい	0 家分断安设货の各化净
	1年/建功事、华惠士二、安知的	<i>\$250112523</i>	01年的自体部分100	no The WE
	1、集团,1因别指莲才3	到色。よその子と見ばべられない	美かい住じる可能性	
		(B) o (建常児八の健康指導が、		
		不充分1二岁3万第四生。		
		0 異常児かく不用を、こかえ込みいる		
		,0		
	登録成かの交診結果にり(知)	0	毎リのエリラハニンスクラジ	到) 0 洋省治核診費用或担
	(生徒所を通じる	49"1: > 72	* 李充 C 摩 念 2.33	D. 4 7 (1.30.
二二次 1月 3万	养品校司分类科李託	0现行二次健防(经可)	0二次(陳彭芳子)	(文) 0 安安青大食者01代1160
(新路(旅沙)	医野球関入	41.1.1高50亿高次医新至	ッケキィスオン	
		をけれる 可能が生		なか妻が近かる。
		(1)の以至下二次候診衛姓		0年前たいのらない、異常児
		や、早五月、ライガイの可能性		のうな存為人の非と指が難
	满3年:1-43月42、保険	A) 0 13 1金町二至みれば	年刊。要第月12月1八、健診	(別年しまかり)と使発のコストメ?
31 40 12 10 Mis	依容易の一字道子里分を活動	Ep. 16/1/18	35条 经的	In: 3.
	し、風がかん		聚零 7.23	

(単位: 千円) 华 040 040 293 670 202 807 830 626 330 394 145 145 421 807 250, 180 平成元年度 . 2 က 44. 39. 96, 69, ä 6, 009 196 506 690 155 900 519 519 770 442 155 4,900 411 227,408 3,207 昭和63年度 40. 4, 64, 36, 85, 8 ω. ė, 413 583 406 506 069 442 564 194 921 921 228 590 164 164 4,830 3, 164 昭和62年度 229, 87, 64, 40, 36. ö တ် 6 593 736 286 089 397 272 206 211 212 571 511 277 277 181 81,815 38.040 昭和61年度 62, Ŕ 215. 33. က် 540 532 793 270 938 382 375 732 254 722 580 255 4.603 255 1,81 7,732 37.420 母子関係予算内容説明禮 昭和60年度 . හ 212. 77, 63. 33. Ö *** 1 #= 妊婦相談検診医師報酬 1歳6か月児心理判定員 ## 12 (4,7岁月) Huts 母親教室(医師・助産婦) (朱養士) 部 定 М 卖 母子健康手帳、母親 教室テキスト等 妊婦健康診査委託料 Ш × 闡 Ą 棚 離乳食数室 1歳6か月児 おもちゃ等 뻣 前数 褫 3歳児 乳児 瓤 က 魯 幸厄 歪 奉因 褌 KK 帮 隻 ø. 狐 能 田 麵 禁

検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

要約:北九州市における乳幼児健診に、市と市医師会との委託契約による北九州方式(いわゆる"窓口健診方式")が導入され 20 年余が経過した。発足当初の昭和 40 年代に比べ母子の栄養状態一つとっても、向上が認められ、この間の母性及び乳幼児に対する健康の保持・増進への諸先輩の努力には、敬服に値するものがある。

北九州市方式は、一面において、現在の母子保健の状況を先見し、全国に先がけた個別健診、個別指導の体制であり、自負できる内容を持っているが、現時点での本方式の利点、欠点を検証し、将来に向けてより地域の実状に即応した展開を検討する時期にきている。例えば、国際化への対応や小児期成人病の予防対策も急務である。今回第一報として、北九州市式方式の歴史および現体制をまとめ、想定される利点・欠点を示し、今後の現状分析の方針を報告した。